

## JCVP 会員資格認定試験問題案の作成について（依頼）

J C V P 理事長 内田 和幸  
試験委員長 古林与志安

2023-2024 年度 JCVP 会員資格認定試験問題案の作成を依頼申し上げます。下記の作成要領をよく読んで作成願います。試験問題を作成すると JCVP 会員資格更新時の評点として 1 回につき 10 点が加算されます。

## JCVP 会員資格認定試験問題案作成要領

## 1. 問題案の作成方法

JCVP のホームページ（日本獣医学会病理分科会 JSVP との合同ホームページ）（<https://jsvp.jp/>）の【EXAMINATION】から問題案作成用の Excel file をダウンロードしてください。問題区分、分野、問題案、正解、出題意図および解答解説、出典（図書名、著者名、発行所、発行年、引用頁）、作題者の所属、作題者名を記入してください。記入済みの Excel file は、WebFile というシステムにアップロードしていただきます。従来の方法ではありませんので、ご注意ください。詳しくは 3. 提出方法等をご確認ください。

問題の作成に当たっては、JCVP 会員資格認定試験受験ガイドラインおよび JCVP 会員資格認定試験実施及び会員登録要項（JCVP ホームページ）を参考にしてください。また、別紙 1 の「出題に当たっての注意事項」をよく読んで作成してください。\*基本図書は最新版に基づき出題してください。出典は必ず 2 つ以上で確認してください。基本図書以外から出題された場合は、出典部分のスキャンデータ（PDF）を提出してください。なお、昨年度（2022-2023 年）出題された問題と同一の問題は作成しないようお願いいたします（ホームページに昨年度の問題・解答が掲載されています）。

\*2021 年、2021 年、2023 年、2023 年に動物病理学各論第 3 版、Pathologic Basis of Veterinary Disease、動物病理学総論第 4 版、Handbook of Toxicologic Pathology 第 4 版がそれぞれ出版されていますので、特に御注意ください。

注意：欠落のある場合は、評点として認めない場合があります。間違い・誤解のない試験問題作成にご協力下さい。特に、解答の選択肢は決まっていますので、それ以外の選択肢は使用しないでください。

## 2. 問題案の作成数、分野

病理学総論（G）の問題を 1 題、各論は「産業動物（D）」、「伴侶動物（C）」、「実験動物（E）」の内から 1 つを選び 1 題、計 2 題を作成してください。出題の範囲が、総論は以下の 8 分野から、各論は以下の 9 分野から、それぞれ 1 分野がランダムに指定されます。別紙 2 にあなたの分野が指定されていますのでご覧ください。

**総論**（下記の範囲を中心にした動物種をまたぐ問題）

- 1 病理学の歴史と概念、細胞傷害の基本的メカニズム
- 2 細胞および組織の傷害と死
- 3 細胞の適応と分化異常、細胞増殖と組織の再生と修復
- 4 循環障害
- 5 炎症、免疫病理
- 6 腫瘍
- 7 染色体、遺伝子および発生の異常、環境性疾患（毒性病理学の基礎）
- 8 感染病理、病理学的研究法

**各論** (産業動物、伴侶動物、実験動物のうち1つを選び、下記の器官についての問題、全身に亘る病気を含む)

- 1 循環器
- 2 血液および造血臓器
- 3 体腔・呼吸器
- 4 消化器
- 5 泌尿器
- 6 生殖器
- 7 神経
- 8 感覚器・内分泌器
- 9 運動器・外皮

### 3. 提出方法

今回から、WebFile というシステムにアップロードいただきます。会員登録いただいたメールアドレスに、WebFile にアップロードいただくための URL をお送りしますので、問題案の Excel file と基本図書以外の出典部分のスキャンデータ (PDF) を 4. の試験問題案アップロード期間にアップロードしてください。

※会員登録されているメールアドレスが古い場合などは、メールが届きません。同封している「会員管理システムの ID、パスワード」に記載の情報を使用して、メールアドレスの修正をお願いします。

所属先のセキュリティ対策により、アップロードできない場合は、貴社のルールに沿う形で別の方法でも提出いただけます。下記事務局あるいは試験委員長までご連絡ください。

事務局

JCVP 事務担当

株式会社コンベンションアシスト 大川 忠司

e-mail : jcvp@cfmeeting.com

### 4. スケジュール・提出期限

下記スケジュールに従い、11月13日(月)までにご提出(アップロード)ください。

スケジュール

会員管理システムメールアドレス修正期間 : 10月10日(火) ~ 16日(月)

WebFile アップロード用 URL メール送付 : 10月18日(水)夜

試験問題案アップロード期間 : 10月18日(水) ~ 11月13日(月)

### 5. 問題案のバックアップおよび守秘義務について厳守願います。

作成したデータは破損を考慮して必ずバックアップ保存をお願いいたします。

問題案は他言しないでください。

### 6. 不明な点の問い合わせ先

試験委員長 古林 与志安

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 獣医学研究部門 家畜病理学研究室

電話: 0155-49-5362 E-mail: kyoshi@obihiro.ac.jp

出題に当たっての注意事項

1. 設問形式

五者択一の設問形式で、問題文の問いかけ、記号、解答の選択肢は例題 1、2 の形式のみとする。

**例題 1** …はどれか。  
…について正しいのはどれか。  
…に関する記述として最も適当なのはどれか。  
診断として正しいのはどれか。  
原因として最も疑われるのはどれか。  
最も疑われる疾患はどれか。  
など

a.  
b.  
c.  
d.  
e.

**例題 2** …に関する正しい記述の組合せはどれか。  
A.  
B.  
C.  
D.  
E.

**選択肢** a. A, B, C    b. A, C, E    c. A, D, E  
d. B, C, D    e. B, D, E

\*注意：「解答記号と選択肢の組合せ」はこの組合せに固定すること。

2. 使用する専門用語等

使用する専門用語は、「現代かなづかい」、「獣医病理学用語集<sup>※</sup>」、日本獣医学会疾患名用語集 (<https://ttjsvs.org/?v=top>) 等に基づいたものとし、薬品名は商品名ではなく、日本薬局方の製剤名で使用する。

※ 第3版 獣医病理学用語集  
学窓社 8,400円（税込み）

3. 素材と質問に関する留意事項

- (1) 基本的で重要な事項を扱ったものか。
- (2) 質問の焦点が絞られているか。
- (3) 「否定型」質問は基本的に作成しない。
- (4) 「二重否定」（設問と選択肢がともに非定型というような）の質問はないか。

#### 4. 識別力に関する留意事項

- (1) 迷わしの引きつけ力は十分か、誤りを含んでいるが、一見もっともらしい記述となっているか。
- (2) 選択肢はすべて対等、平等か、専門的すぎるもの、異質なものを等はないか。
- (3) 故意に引っかけるような表現を使っていないか。
- (4) 正答となる選択肢が不必要に多く設定されていないか。
- (5) 正答や誤りの選択肢が常識的すぎないか。よく考える者だけを迷わすおそれはないか。
- (6) 正答を推察できる抜け道はないか。
  - ① 設問と正答だけに共通な語句がないか。
  - ② 正答だけが詳しく、長くなっていないか。
  - ③ 「すべて」、「常に」、「決して」、「必ずしも」等を迷わしとして安易に用いていないか。
  - ④ 「いわゆる」、「一般的に」、「しばしば」等の表現を安易に用いていないか。
  - ⑤ 正答の作り方や位置に一定の傾向がないか。
  - ⑥ 組合せ式の場合、各選択肢中の正しい語句のバランスがとれているか。
  - ⑦ 他の選択肢から正答が暗示されていないか。
  - ⑧ 正答の組合せを選ぶ設問で、相反する内容を有するような選択肢が存在することにより正答の組合せが限定されることはないか。

#### 5. 正確さに関する留意事項

- (1) 設問の中に暗黙に考えた条件を落としてないか。
- (2) 質問の意味を文字通りとった場合、他の選択肢も正答となる可能性はないか。
- (3) 正答は確実に正答と認められるか。
  - ① 著者の異なる2種類以上の参考資料によって妥当とされているか。
  - ② 実際に解いてみて正答にたどり着くか。
- (4) 誤りの選択肢は確実に誤りであると認められるか。  
(参考資料によって誤りであることが確認できるか。)
- (5) 「正しい答」と「最良の答」について、適切な問いかけ方をしているか。
- (6) 互いに関連する選択肢はないか。
- (7) 不正確な表現方法、誤解を招くような表現方法等（厳密に言えば誤りである等）をしていないか。

#### 6. 表現に関する留意事項

- (1) 他の問題と表現の統一（特に質問の言い回し等）がとられているか。
- (2) 不要な表現がないか、表現は簡素平明か、選択肢が必要以上に長くなっていないか。  
(選択肢の文章は極力35文字（1行）以内とすること。)
- (3) 受験者の人格を損なうような表現はないか。
- (4) 各選択肢に共通の語句が不必要に繰り返されていないか。
- (5) 選択肢の配列等は妥当か。